

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 地域でくらす会	理事長	井上 徹	法人・ 事業所 の特徴	いくのさん家の基本理念「関係性こそ、その人らしさ どう生きたいか、に立ち返る ひ とりの支援は、地域を変える」に沿って、住み慣れた自宅や地域での生活が安心して継 続出来るよう、地域資源を活用したり、近所の方にも協力していただいたりして、一人 ひとりの思いを大切にす支援をするよう心掛けている。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護 いくのさん家	管理者	谷口 加奈美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	2人	1人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所内の活動に留まらない様に、全職員が積極的に地域活動に参加し地域住民との交流を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内のお祭りや一斉清掃等の活動に参加する事が出来ている。参加職員に偏りがあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「全職員が」という表現にするとハードルが高くなってしまうと思う。</li> <li>事業所がある地域活動は分かるが、利用者の住む地域活動となるとさらに難しくなると思うが…。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の職員会議で1テーマずつ改善計画の振り返りを行う。</li> </ul>
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事開催の場合、近隣の方には直接チラシを配布し周知して頂く。世代別にイベント内容を検討する。(掲示板での告知も)</li> <li>地域の方々を対象としたボランティアを募る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲示板に行事案内を貼り付けて告知を行った。近隣の方には行事案内を直接お伝えして参加を募った。</li> <li>ボランティア内容を分かりやすく明記し、近隣の方々に周知して頂く工夫が足りなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族会の雰囲気がとてもよく家族同士の繋がりにもなった。</li> <li>少人数の事業所だと色々行き届いていると感じる。</li> <li>事業所に来た事がない地域の方々にとったら、入りやすく感じてもらう為の工夫は必要だと思う。そもそも用事がないと入ろうとは思わないのでは…。</li> <li>入ってしまえば様子も分かるので、まずは玄関の扉を開けてもらえる工夫を考えてみてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方も参加しやすいように屋外行事を行う。(多世代が参加できる納涼祭の企画)</li> <li>外観、外回りが季節感を味わえるように整備する。</li> </ul>
C. 事業所と地域の かかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会のイベントに参加し、交流の機会を作る。</li> <li>テーマを募集し、地域の方を交えて研修会を開催する。(他機関との連携)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の祭りや行事に参加し交流を図ることが出来た。</li> <li>夏に看護大学の学生さんと一緒に、熱中症・脱水をテーマに講習会を開催し、地域の方々に参加して頂いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も研修会を開催するとすればどのようなテーマを検討しているのか。</li> <li>社協で無料の出前講座の案内を作っているのでぜひ参考にしてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣近所の方々に事業所の取組みをお伝えする。(広報誌を使用、アンケートを作成し、近隣の困り事や心配事の取組みに繋げる)</li> <li>アンケートは6月までに作成する。</li> </ul>
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事の情報収集は継続して行っていく。(ご本人にとっての馴染みの店や場所の把握)</li> <li>介護の相談窓口になれるように、チラシを作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご本人、ご家族から情報の収集を行い支援に繋げている。馴染みの場所やお店を把握して出向くことをしている。</li> <li>飛び込みで相談を受ける機会はあるがパンフレットを使用しており、相談に特化したチラシの作成に至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所がある地域活動は分かるが、利用者の住む地域活動となるとさらに難しくなると思うが…。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事の情報収集は継続。(各公民館に行き活動予定、便りを集約)</li> <li>ご本人、ご家族から馴染みの店や場所を聞き取り支援に取り入れる。(継続)</li> </ul>

	し近隣に配布する。			
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護相談のチラシを作成し、定期的に配布する。</li> <li>・テーマを募集し、地域の方を交えて研修会を開催する。 (他機関との連携)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護大学の学生さんと一緒に、熱中症/脱水をテーマに講習会を開催し、地域の方々に参加して頂いた。</li> <li>・飛び込みで相談を受ける機会はあるがパンフレットを使用しており、相談に特化したチラシの作成に至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話番号が屋外の見やすい場所に掲示されたら問い合わせのきっかけにならないか。</li> <li>・「地域」を大きく捉えるのではなく、少しずつ広げていく方がいいと思う。町内会単位まで枠を広げると話も大きくなり難しくなってくる。まずは隣近所レベルで。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣近所の方々に事業所の取組みをお伝えする。 (広報誌を使用、アンケートを作成し、近隣の困り事や心配事があれば会議で報告)</li> <li>・アンケートは6月までに作成する。</li> </ul>
F. 事業所の 防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方に事業所の中を知って頂く機会を作る。(イベントや介護相談等)</li> <li>・地域の訓練に参加し、相互関係を作っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回実施される地域の防災訓練には参加出来ている。そこで、近隣住民の方々と顔見知りになりお話しをする機会を作ることが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所は周囲に頼らなければいけない立場になると思うので、日頃からの関係性を大切にして頂きたい。</li> <li>・この地域の消火栓がどこにあるか、全職員が把握しておく方がよい。</li> <li>・防災訓練の日程を、運営推進会議と同じ日程にすれば、委員も参加しやすくなるので検討願いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練を運営推進会議の日程と合わせて実施する。 (前期)</li> <li>・町内の防災訓練、地域の防災訓練に継続して参加する。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 18 日 (18 : 15 ~20 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 13 人/13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	4 人	0 人	13 人

前回の改善計画	・ご本人の言葉や表情、感情などその場にはいない職員でも様子が分かるように記録に落とし込む。連絡ノートをしっかり活用し情報の共有をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・記録内容によっては前後の背景が読み取りにくい事もあり、確実に様子が落とし込んでいるといえない。職員間で視点がズレて記録内容に差が出てしまう事があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5 人	6 人	1 人	1 人	13 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	7 人	5 人	1 人	0 人	13 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6 人	6 人	1 人	0 人	13 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3 人	6 人	4 人	0 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人が慣れていない時期には不安を感じる方も多いのでしっかりと傾聴し寄り添う支援を心掛けています。信頼関係を作っていくために、訪問を活用ししっかりとご本人に向き合うように心がけている。その後、必要に応じた通いや泊まり利用の提供に繋げている。ご本人、ご家族との会話の中から、思いや考えを掬い上げる様に努め支援に活かしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご本人を支える上で今何が必要なのかという事に職員間でバラツキがある。意見交換が少ないとまとまりがなくチームケアに課題が出来てしまう。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・関わりはじめである場合は、初期支援で大切にすべき点 (観察事項) を職員間で取りまとめる。言動や表情 (ご本人・ご家族) 等状況の変化を見落とさない様に利用前後に振り返りを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 18 日 (18 : 15 ~20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 13 人/13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 人	5 人	1 人	13 人

前回の改善計画  
・即時的に対応が必要なケースが起きれば、職員間で情報をしっかりと共有する。実践した内容、かかわった結果どうだったかその後の振り返りと、次の対応までしっかりと話し合い記録していく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
・その時に判断が必要な場合は職員間で相談ししっかりと共有する事が出来ている。その後の振り返りと次の対応までの話し合いが不十分であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0 人	6 人	6 人	1 人	13 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3 人	5 人	4 人	1 人	13 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3 人	5 人	5 人	0 人	13 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0 人	10 人	2 人	1 人	13 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・ご本人の生活暦や会話の中から「～したい」を掬い上げ、実践する様に心がけている。今まで培ってきた経験を活かせる環境を提供し、ご本人のやりがいに繋がるように支援することが出来ている。また、即時的に対応が必要な場合も柔軟に対応する事が出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・目標を達成した後の振り返りが不十分であり、途切れ途切れになっていることがある。  
・各ご利用者の「～したい」の把握が出来ていない。チーム内でしっかりと取りまとめ、他チームへ伝える事が不十分である。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
・毎月の会議で当面の目標 (～したい) を実践している中で、困難性を感じた点や苦労している点、上手くいっている点、修正が必要な点と分けて報告する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 18 日 (18 : 15 ~20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 13 人/13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	7 人	2 人	1 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・身体介護技術の勉強会を企画し開催する。</li><li>・即時的に対応が必要なケースが起きれば、職員間で情報をしっかりと共有する。実践した内容、かかわった結果どうだったかその後の振り返りとあわせて、次の対応までしっかりと話し合い記録していく。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・拘縮がある方に対しての身体介護等テーマを決めて外部講師を招き勉強会を開催した。定期開催になるまでには至っていない為、身体介護の勉強会を年間計画に取り入れてきたい。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0 人	4 人	5 人	4 人	13 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4 人	8 人	1 人	0 人	13 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2 人	6 人	4 人	1 人	13 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5 人	8 人	0 人	0 人	13 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5 人	7 人	1 人	0 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・体調面、精神面ともに変化に気付いた時は職員間で情報を共有することが出来ている。ご家族からも情報の収集を行い、日常生活の些細な変化に気付くことが出来る様に努めている。寄り添って話しを伺い、言葉を掬い上げ支援に繋げている。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・以前の暮らし方(こだわり)を把握する上で、ご本人からは日常会話の中である程度聞き取りが出来ているが、ご家族からの情報収集が足りていない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・年間の研修計画に身体介護を組み込む。(身体介護で習得したい事、対応に困った事(場面)、新しい介護技術等)</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 18 日 (18 : 15 ~20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 13 人/13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	3 人	8 人	2 人	13 人

前回の改善計画  
・訪問時や送迎時も情報収集の機会であると意識して支援する。私の暮らしまとめシートを活用する。  
・介護者同士の交流会を計画する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
・家族会を通じて交流会を行う事が出来た。当事者間で話しをする事で、意見交換になりとてもいい機会であった。送迎時等でご家族と顔を合わせた時、挨拶だけで終わることがないように情報の共有をする事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2 人	5 人	5 人	1 人	13 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2 人	8 人	1 人	2 人	13 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0 人	7 人	4 人	2 人	13 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0 人	4 人	6 人	3 人	13 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・全員ではないが今までの関係性が途切れないように、地域活動を支援することが出来ている。また、培ってきた経験を活かせるように外部と調整し、支援に繋げる事が出来ている。可能な限りご家族にも関わって頂くように働きかけている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・地域資源の把握がまだまだ不十分であり、また地域の方と関わる機会がない方もいらっしゃる。やはりご利用者ごとの地域へのアプローチはまだ不十分である。送迎時や、訪問時も地域に出向く機会と捉える事が必要である。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
・地域による特性と地域独自の社会資源を一つでも多く見つける。毎月の職員会議で、振り返りの時間を作りチームごとに発表する機会を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年 12 月 18 日 (18 : 15 ~20 : 30)
------------------	-----	-----------------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	13 人/13 人
----------------	------	-----------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	9 人	4 人	0 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・即時的な対応が必要な場合は、朝礼等で問題提起し職員間で共有し柔軟に支援する。その後の結果、振り返りまでしっかりと記録に残す。(毎月の会議で事例を通して振り返りを行う)</li> <li>・多種多様なボランティアの受け入れ。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調不良等即時的に対応の変化が必要な場合も柔軟に支援する事が出来た。問題提起の仕方が不十分となり、上手く連携が図れない事もあったので、情報の共有は課題として捉えている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0 人	7 人	5 人	1 人	13 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9 人	4 人	0 人	0 人	13 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5 人	7 人	1 人	0 人	13 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6 人	7 人	0 人	0 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人、ご家族の体調はもちろんの事、精神的な変化に応じて、柔軟に「通い」「泊まり」「訪問」を組み合わせ支援することが出来ている。必要に応じ即時的にサービス回数や内容、送迎の時間を変更するなど対応出来ている。通いの場を事業所と限定せず、その方に合わせた活動の場所を提供出来るように心がけている。積極的にボランティアの方を受け入れ、一緒に支援の輪の中に入れてもらえるよう働きかけている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・気付いたことが個人でとまり共有出来ていない事がある。他の業務を優先してしまう事で、連絡の遅れが発生している事も考えられる。記録された内容を振り返り関りの統一を図ることが不十分である。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・変化があれば、必ず朝礼等を活用して振り返りを行い比較する。(記録して振り返りを行う事で継続して必要な支援かどうかチーム内で課題を検討する。)</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 18 日 (18 : 15 ~20 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 13 人/13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	3 人	4 人	2 人	13 人

前回の改善計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェへの参画を継続し、参加者との交流を深める。職員全体で考え参加機会を設ける。</li> <li>・町内会活動、自治会活動に参加する。</li> <li>・事業所のイベントがあれば、外の掲示板や地域の方々へ案内を配布する。</li> <li>・地域の介護相談等応じられるように、全職員が事業所の特色や内容を伝えられるようにする。</li> </ul>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<p>・認知症カフェには年度当初から参加する事が出来た。担当を決めて取り組む以外に、職員会議で内容を伝え職員間で共有を図った。事業所側から地域に出向く貴重な機会として、職員間でも意識の変化になっている。地域行事にも積極的に参加し、住民の方々と交流する機会を作った。イベントの告知も掲示板を利用し啓発し参加して頂く事も出来た。少しずつではあるが介護相談も増えている。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	7 人	6 人	0 人	0 人	13 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	7 人	6 人	0 人	0 人	13 人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0 人	5 人	5 人	3 人	13 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	5 人	5 人	2 人	1 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括支援センター内で、月 1 回開催される認知症カフェに参画し、ご利用者と一緒に参加する事が出来ている。年間計画を作成する時点から会議に出席し、事業所として年 2 回、カフェを担当し地域住民と関わる機会を作っている。町内会の行事には積極的に参加し交流を図っている。子供や大学生が事業所を訪れる機会もある。件数は少ないが、地域住民の方が介護相談に訪れた事もあり対応している。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事以外に地域住民（高齢者、子供）の方が頻繁に訪れるまでには至っていない。用事がないと入りにくいと考えられる。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会活動には継続して参加する。</li> <li>・イベント（行事・研修会）の告知と案内の配布。 (簡単なアンケートを作成し、近隣の方の要望を把握する)</li> </ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 18 日 (18 : 15 ~20 : 30)

7. 運営

メンバー 13 人/13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	4 人	7 人	2 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当職員だけではなく、交代で認知症カフェに参加し、地域住民の方々と交流を深めていく。(毎月開催されるカフェに参加する。)</li> <li>地域の方と合同の行事や勉強会を企画し開催する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の方々と交流を深めていくために、担当職員を増やして参加を図った。今年度は、毎月の参加は出来なかったが当番月には多くの方々に事業所を知って頂く機会が作れたと思う。</li> <li>事業所主催の行事や勉強会を開催し地域の方々に参加して頂く機会が作れた。参加者はまだ少なく啓発の仕方には工夫が必要だと感じている。地域住民の方々が介護についてどのような内容を聞いてみたいか精査する必要がある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2 人	7 人	2 人	2 人	13 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0 人	11 人	0 人	2 人	13 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0 人	8 人	3 人	2 人	13 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0 人	4 人	7 人	2 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時や訪問時など、ご家族から頂いたご意見があればミーティングや朝礼で話し合いを行っている。</li> <li>ご利用者との関わりでは、会話の中から言葉を掬い上げるようにしている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>まだまだ事業所単独での活動となりがちであり地域と協働した取り組みには至っていない。事業所の事を少しずつ周知して頂いているが、取り組みをお伝えする機会が出来ていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々に事業所の取り組みをしてもらい機会を作る。(7 月～8 月)</li> <li>(スライドを作成し日々の活動の様子や認知症カフェの取り組み・目指すところを伝える。)</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 18 日 (18 : 15 ~20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 13 人/13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	3 人	1 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修の内容を検討、見直ししていく。(事例を通しての意見交換等、聞くだけではなく参加型の内容にしていく)</li> <li>・参加出来ない職員に対し、確実に伝達講習を実施する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員が研修内容(資料の準備)や進め方を考え、参加職員に伝えている。担当する研修内容の振り返りとともに、参加職員にどのように伝えるかを考える機会となっている。参加する職員にも意見を言ってもらった事で質の向上に努める事が出来た。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6 人	4 人	3 人	0 人	13 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0 人	4 人	4 人	5 人	13 人
③	地域連絡会に参加していますか	7 人	4 人	1 人	1 人	13 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2 人	4 人	5 人	2 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間研修計画を立てて、毎月 1 回内部研修を開催している。職員が持ち回りで各テーマを担当し、振り返りやスキルアップの機会になっている。</li> <li>・ヒヤリハットや事故事例について話し合いを行い職員間で情報の共有に努めた。</li> <li>・市内にある複数の事業所で定期的に集まり、研修会の企画や啓発活動を行っている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部・外部研修の年間計画が不十分であった。</li> <li>・ヒヤリハットが起きた場合、職員間で再発防止について話し合い共有は出来ているが、その後の振り返りが少なく改善が必要である。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットや事故の再発防止を徹底する。(再発防止策の振り返りを行い評価する。: 1 週間後、2 週間後、1 か月後)</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 18 日 (18 : 15 ~20 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 13 人/13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	4 人	4 人	0 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>対人援助技術についての勉強会を行う。</li><li>一つ一つの言葉かけを大切に丁寧に接する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>言葉遣い (声かけ) が乱れることがないように、各職員心掛けています。接遇研修を行い、各々気になる事をあげて、各職員が振り返り出来るようにしている。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7 人	6 人	0 人	0 人	13 人
②	虐待は行われていない	10 人	3 人	0 人	0 人	13 人
③	プライバシーが守られている	5 人	7 人	1 人	0 人	13 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7 人	6 人	0 人	0 人	13 人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	6 人	6 人	1 人	0 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>日々の関りでご本人の思いや言動を傾聴し、掘り上げている。職員間で「待つ」事を大切にして支援することが出来ている。</li><li>身体拘束や虐待についての研修会を開催して、日々の支援を振り返る時間を作っている。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>周囲に聞こえる声で話しをしてしまうことがある。情報を伝達する際の意識が不十分であった。</li><li>待つ頂く際もしっかりとした説明が必要であるが不足している。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>毎月の職員会議で接遇 (言葉かけ) について振り返りを行う。不適切な表現や支援があれば、全員で共有し再発防止策を協議する。(防止策の振り返りは必ず行う。)</li></ul>	